（様式３-３）

〔鉄骨造〕

工事監理状況報告書【中間検査用】

年　月　日

建築主事　様

報　告　者　　住　　所
（工事監理者）　事務所名
氏　　名

下記、工事中の建築物の工事監理状況について、建築基準法第12条第５項の規定により次のとおり報告します。

建築主氏名		
工事場所		
確認済証	年　月　日	第　　号
	確認機関名	
計画変更確認済証	年　月　日	第　　号
	確認機関名	

工事監理の状況

確認事項		確認を行う照合内容	工事監理者確認結果※1		検査員記録※2
			A目視確認 B計測確認 C書類確認	結果	結果
1	(法89)確認表示板	□ 建築確認表示板の設置	A	適・不	適・不
2	(法90)工事現場の危害の防止	□ 仮囲い,防護ネット,山留	A	適・不	適・不
3	(法19)敷地の衛生及び安全	□ がけ･擁壁の安全性,敷地の衛生及び安全	A･B･C	適・不	適・不
4	(法40,42,43)敷地と道路の関係	□ 道路の幅員	A･B･C	適・不	適・不
		□ 道路に接する敷地の長さ	A･B･C	適・不	適・不
		□ 敷地内通路,専用通路の幅及び長さ	A･B･C	適・不	適・不
		□ ２項道路の後退	A･B･C	適・不	適・不
5	(法52～54)敷地形状,容積率,建蔽率	□ 敷地形状及び高低差	A･B･C	適・不	適・不
		□ 基礎形状･建物形状	A･B･C	適・不	適・不
		□ 建物配置(道路,隣地からの離れ)	A･B･C	適・不	適・不
6	(法56)斜線制限	□ 建築確認図書の立面図との照合	A･B･C	適・不	適・不
		□ 道路,隣地,北側敷地境界線からの後退距離の確認	A･B･C	適・不	適・不
7	(令38,告示1347)基礎･地盤	□ 設計図書通りの地耐力が得られたか 確認方法(　　)	A･B･C	適・不	適・不
		□ 地耐力が得られなかった場合の措置 措置の内容(　　)	A･B･C	適・不	適・不
		□ 杭種･工法･打設結果の確認	A･B･C	適・不	適・不
		□ 径,長さ,本数	A･B･C	適・不	適・不
		□ 杭偏芯の有無･処理(基礎･梁の補強)	A･B･C	適・不	適・不
		□ 杭頭処理	A･B･C	適・不	適・不
		□ 鉄筋の品質･規格(ミルシートの確認)	A･B･C	適・不	適・不
	(令77,78,79)	□ 主筋･あばら筋等の本数,径及び間隔,かぶり厚	A･B･C	適・不	適・不
	(令73,告示1463)	□ 主筋の定着	A･B･C	適・不	適・不
	(令73,告示1463)	□ 継手の位置	A･B･C	適・不	適・不
		□ 継手試験結果(引張り,超音波)	A･B･C	適・不	適・不
		□ 梁貫通補強	A･B･C	適・不	適・不
	(令72,74,告示1102)	□ コンクリートの品質･規格	A･B･C	適・不	適・不
	(令76,告示110)	□ 型わく及び支柱の除去	A･B･C	適・不	適・不
		□ 基礎出来形(各部材の形状,寸法の確認)	A･B･C	適・不	適・不

8	(令66,67,68) (告示1456) (告示1464) 上部構造	建築物全体	□ 建築物の形状	A・B・C	適・不	適・不
		部材の配置	□ 建築物の建て入れ精度	A・B・C	適・不	適・不
			□ 柱･大梁･小梁の配置	A・B・C	適・不	適・不
			□ 垂直･水平ブレースの配置	A・B・C	適・不	適・不
			□ デッキプレート,ALC板の方向性	A・B・C	適・不	適・不
		部材の仕様	□ 鋼材･ボルトの材質,形状,寸法	A・B・C	適・不	適・不
			□ ボルトの縁端距離	A・B・C	適・不	適・不
		柱脚の施工状況	□ 柱とベースプレートの溶接	A・B・C	適・不	適・不
			□ ベースプレートの寸法	A・B・C	適・不	適・不
			□ アンカーボルトの径,長さ,位置,二重ナット	A・B・C	適・不	適・不
			□ ベースプレート下モルタル充填	A・B・C	適・不	適・不
			□ 脚部の根巻き･埋込み	A・B・C	適・不	適・不
		柱･梁の仕口部	□ 突合せ溶接の位置,状況	A・B・C	適・不	適・不
			□ ダイヤフラムとフランジの位置,状況	A・B・C	適・不	適・不
			□ スカラップ,エンドタブ,裏当て金の確認	A・B・C	適・不	適・不
		梁接合部	□ HTBの径,本数,添え板厚	A・B・C	適・不	適・不
			□ ビンテールの破断(トルシア型)	A・B・C	適・不	適・不
			□ マーキングのずれ(全てのHTB)	A・B・C	適・不	適・不
			□ 高力六角ボルトの締付け(JIS型)	A・B・C	適・不	適・不
			□ 摩擦面の処理	A・B・C	適・不	適・不
		その他	□ 溶接部の検査結果	A・B・C	適・不	適・不
			□ 床の仕様、接合方法	A・B・C	適・不	適・不
			□ ブレースの接合部,たわみ	A・B・C	適・不	適・不
			□ 梁　等貫通個所の位置,補強	A・B・C	適・不	適・不
			□ さび止め塗装	A・B・C	適・不	適・不
		(令79の3)	□ コンクリートのかぶり厚さ(SRC)	A・B・C	適・不	適・不
9	その他※3			A・B・C	適・不	適・不
				A・B・C	適・不	適・不
				A・B・C	適・不	適・不
				A・B・C	適・不	適・不
				A・B・C	適・不	適・不

指示内容※4

検査に用意する図書の例※5

確認関係図書	■確認申請図書　■告示第1347号による基礎構造図
工事監理記録	■支持地盤確認　■基礎配筋検査　■鉄骨製品検査　■建方検査
使用材料の品質を示す書類	■鉄筋・鉄骨ミルシート　■コンクリート試験結果等　■使用材料品質証明書
検査結果報告書	■杭工事施工結果報告書　■溶接部検査結果報告書　■鉄骨精度測定結果 ■露出型柱脚施工管理報告書　■コンクリート工事施工結果報告書 ■自主検査報告書
その他	■工事写真　■認定・評定書の写し　■各種施工要領書

※1 確認項目を現場でチェックし、適合は「適」に、不適合は「不」に○印を記入してください。
（該当しない項目は記入しないでください）

※2 太線枠内は記入しないでください。

※3 確認事項の項目にないものは、「9その他」の欄に記入してください。例として、増築等で既存改修がある場合には「その他」に記載してください。

※4 確認結果で不適合がある場合は、その項目番号（例：3-1）と現場で指示した内容を、「指示内容」欄に記入してください。

※5 「■」の図書について、該当する工事がない場合は用意不要です。